



与那嶺義雄 議員

環境基本計画の策定で 総合的な環境行政を

問 企業との公害防止協定は、古くは復旧前後に逆上るが、水質や大気汚染など、現在の環境基準値と合致しているのか。また、監視体制はどうか。次に、93年の環境基本法制定以来、各自自治体では環境基本条例や同基本計画の策定がはじまっている。公害や自然の保全、ゴミ問題を個別的に対応するのはなく、これを総合的に環境行政を推進するのが同法の目的である。町の見解を。

健康衛生課長 協定の二覧を見ると古いものが多い。有害物質の追加など現在の基準に適合しているかチェックしたい。今後とも監視を強化したい。環境基本計画は、内容が複雑で多岐にわたる、全庁的な取り組みが必要。

問 町は何年も前から、大気や水質、騒音などの測定をしているが、そのデータが担当課の内部でストップされ、町民に公表されていない。このデータに基づいて環境白書を出したらどうか。環境基本計画の策定は、環境行政の最優先する課題と位置付け、町が行う各種の施策や事業を環境の視点から総合的にチェックする仕組みができればどうか。環境基本計画の策定は検討したい。

健康衛生課長 広報等で分かりやすく説明し、データを公表したい。

問 環境問題は時代とともに非常に複雑化し、総合的な対応が必要。職員も専門的な養成が必要かと痛感している。環境基本計画の策定は検討したい。

問 こんちの、子供達の荒れている現状は、また大人社会の反映でもあつたか。大人のストレス社会も大きな問題。やんばるの森で、子供達が自然体験することで、子供達の心身の発達に生かす力を認識でき、町民の余暇利用の面から、やんばるの森が必要では。方法として、環大周辺の町有地の宅地は、東村の森の資産価値の100倍。つまり、100坪で1万坪の森が等価交換で得られる。やんばるの自治体にとっても、この宅地に学生寮を建設すれば父母の教育費の負担軽減にもなる。

町長 町内の自然保護も進めながら、満たされない部分につきやんばるの自治体との交流も検討している。森の取得については、利用頻度の問題や費用の検討が必要。可能な限り、やんばるの既設の施設の有効利用と自治体との交流関係を結んだ方がよいのでは。実現にむけ努力したい。

町長 これまでの一人配置から、そこに生涯学習振興係長を張り付け具体的に事業をし計画遂行の為に働いてもらおうと四月から配置しております。



伊川幸子 議員

今年の人事異動が 広報に掲載されないのはなぜ？

問 今年の役場内の人事異動が広報にはらに掲載されないのはどうしてですか。

企画財政課長 本来広報への依頼は各課から掲載依頼を徴したものに基いて内容を検討し掲載することになっているが、今回の異動については特に担当課からの文書の依頼はなかった。これ迄は広報担当で資料を取り寄せて掲載していたが、今年度も例年通り予定していたがスペースの都合で掲載できなかった。八月号に掲載の予定をしています。

図書館建設について
問 図書館建設に関して、現在の職員体制と財源についての考えを伺います。

町長 これまでの一人配置から、そこに生涯学習振興係長を張り付け具体的に事業をし計画遂行の為に働いてもらおうと四月から配置しております。

問 町内の各行政区にある地域公民館文庫の活用状況はどうか。対策について伺います。

生涯学習課長 現時点で報告された箇所は八ヶ所ですが、平均九八名の利用です。去年は十四ヶ



地域公民館文庫 (坂田区)

問 文庫を開設する為にボランティアをわざわざ探している書記の活用で対応できませんか。

生涯学習課長 事務担当者会だけで事情を開き、できるだけ開設できるようにお願いして多くの自治会が文庫開設できるよう努力していきたいなあと考えております。



伊礼一美 議員

憲法を基本にした 町政運営について

問 森首相の「神の国」と憲法を否定するもので、五、一〇六人の戦争犠牲者を出した西原町として許せないと思うが。

町長 天皇のためと命を捨てた多くの国民のことを考えると、再び天皇を旗印にするような流れは阻止すべきです。

問 教育基本法の理念にそった教育について

教育長 国費削減や殺傷など少年事件がひん発しています。根本的な解決のために、準憲法的な教育基本法に基づききといた教育こそが求められているのではないかと。

問 老朽校舎の整備計画はどうか。

教育長 平成十二年度西原中学校の特別教室の改築と西原小学校三階校舎の耐力度調査予定。
平成十三年度西原小学校三階校舎改築予定。
平成十四年度西原小学校体育館耐力度調査。
平成十五年度西原小学校体育館改築予定。
平成十六年度坂田小学校三階校舎耐力度調査を予定。
問 子どもたちは三〇度をこす教室の中で汗をか



呉屋 實 議員

劣化ウラン弾薬きよ うの流出について

問 去る五月三十一日の新聞報道で、劣化ウラン弾の棄きよう数百発が本町内の軍払い下げ業者の物置置場に放置されていることがわかって、町民に大きな衝撃を与えている。この問題について抗議、経過、国側の調査報告を含め町民に知らせる必要があるか。

町長 町民に大変な不安を抱かせた問題だと考えており、米国総領事館、外務省、防衛施設庁に抗議要請している。この問題については、いろんな課題を抱えており、流出経路など具体的な報告を受けてから町民に最

問 行政の原点としていかに町民が日々の生活を豊かに暮らすことができるか地域環境の整備に常々目を向けなければならない。そこで各学区内の町道、部落道の整備状況を八年前、四年前、現在の整備率を伺いたい。

土木課長 平成三年度約八・一％平成七年度八二・九％平成十一年度で八三・七％で今後も鋭意努力し、舗装等についてやっていく。

問 農道整備について

マリン・タウン地域の埋立事業も進み、町道



産業課長 この一帯は五路線があり、町道二、農道二、マリン・タウン進入路一がある。東中学校から海岸まではほとんどキビ畑であり産業課の管理であるが、土木課とも調整のうえ道路管理をやっている考えである。指摘の箇所は排水の整備がなく、雨降りに道路がぬかるみ悪い状態であることは見ております。地主とも相談しながら排水改善に早めの取り組みを検討していく考えである。